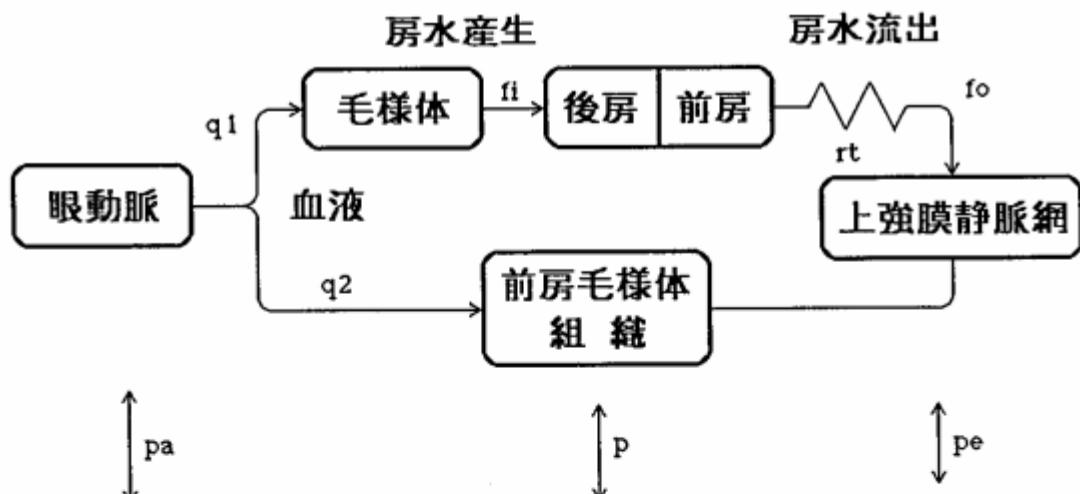
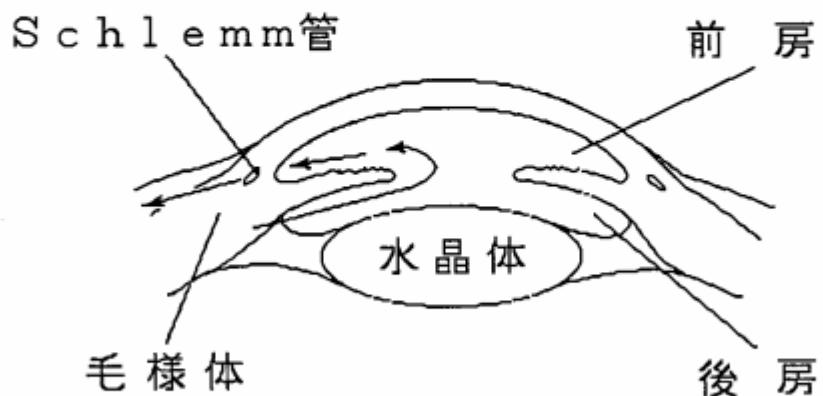


題名	E S P 上の定性推論システム「QR / E S P」
目的	知識表現システム設計の基礎的研究として、定性推論システム QR / E S P を開発し、医療領域への応用を通してその有効性を実証する。
概要 及び 特徴	<p>概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 対象系の構造モデルから定性的シミュレーションに必要な制約式を生成 定性的シミュレーションから系の挙動を予測 予測結果に基づいて診断ルールを生成 生成されたルールを用いて、緑内障診断システムを実現 プロセスシステムの挙動予測に応用 <p>特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> 制約式の生成によるモデル化の支援 疾患仮説に対応した異常状態の挙動予測 定性推論のあいまいさを利用した確信度計算
構成	<p style="text-align: center;">QR/ESP</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>定性推論部</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザ 構造モデル 制約式 グラフィック インター フェイス ルール </div> <div style="width: 45%;"> <p>診断部</p> <ul style="list-style-type: none"> ルールベース 推論エンジン </div> </div> <pre> graph TD User((ユーザ)) --> SM[構造モデル] User --> GI[グラフィック インター フェイス] User --> Rule[ルール] SM --> CR[制約式] CR --> Rule Rule --> DB[ルールベース] DB --> RE[推論エンジン] RE --> Rule </pre>

眼圧調節モデル



□ : 要素

pa : 眼動脈圧

fi : 房水產生量

→ : 流体の流れ

p : 眼圧

fo : 房水流出量

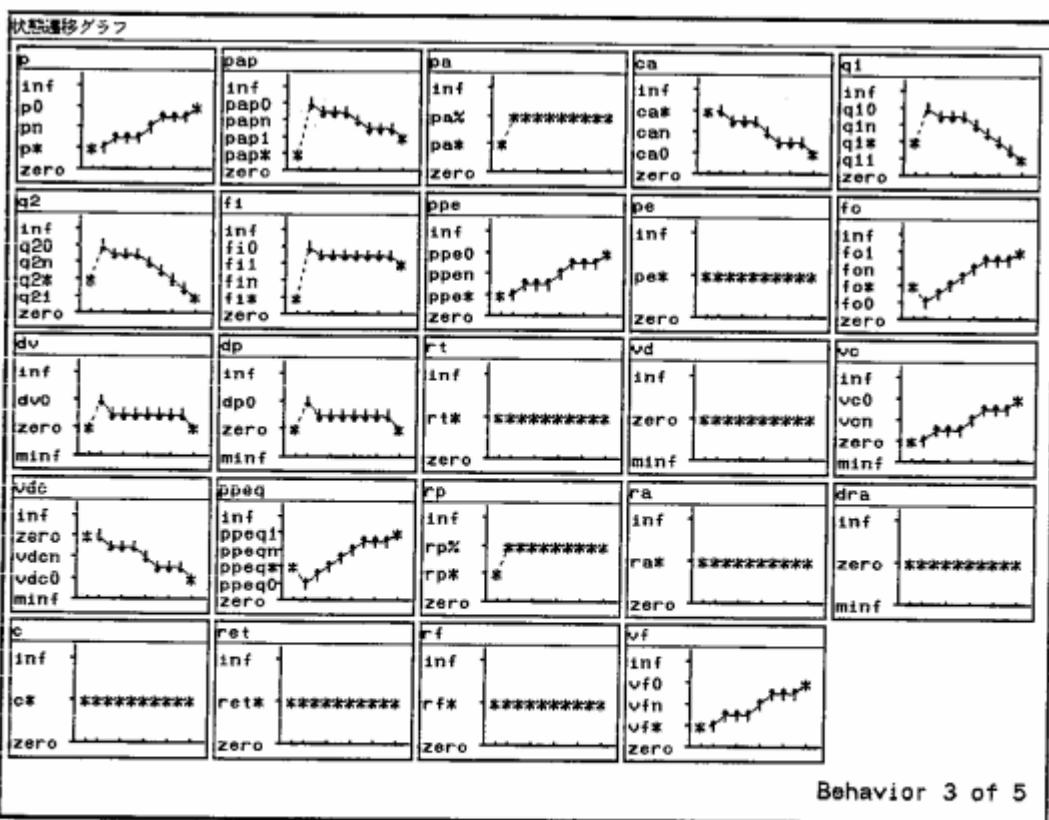
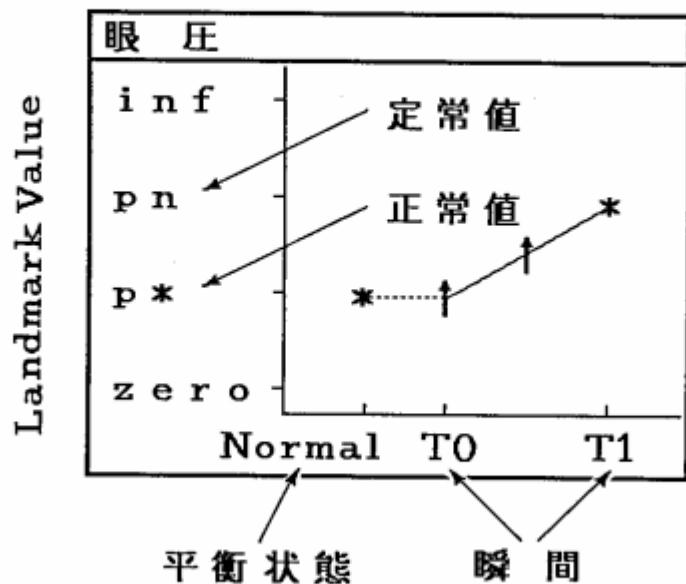
↑↓ : 圧力

pe : 上強膜静脈網

rt : 房水流出抵抗

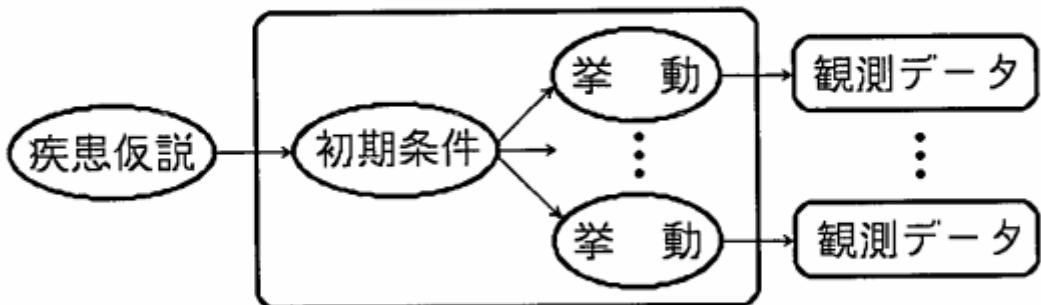
q_1, q_2 : 血流量

デモ内容 (2/3)



ルール生成の枠組み

定性的シミュレーション



最終ルール生成

規内論に関する以下のルールが生じきました。

眼圧 (p) が定常値よりも大ならば、確率3 3 %で原発開放隅角緑内障である。
眼圧 (p) が定常値よりも大ならば、確率3 3 %で過分泌緑内障である。
眼圧 (p) が定常値よりも大ならば、確率3 3 %で慢性原発閉塞隅角緑内障である。
眼圧 (p) が定常値と等しいならば、確率5 0 %で非緑内障である。
眼圧 (p) が定常値と等しいならば、確率5 0 %で低眼圧緑内障である。
動脈血流比率 (c a) が正常値よりも大ならば、確率5 0 %で原発開放隅角緑内障である。
動脈血流比率 (c a) が正常値よりも大ならば、確率5 0 %で慢性原発閉塞隅角緑内障である。
動脈血流比率 (c a) が正常値よりも小ならば、確率2 4 %で非緑内障である。
動脈血流比率 (c a) が正常値よりも小ならば、確率1 2 %で原発開放隅角緑内障である。
動脈血流比率 (c a) が正常値よりも小ならば、確率2 4 %で過分泌緑内障である。
動脈血流比率 (c a) が正常値よりも小ならば、確率1 2 %で慢性原発閉塞隅角緑内障である。
動脈血流比率 (c a) が正常値よりも小ならば、確率2 4 %で低眼圧緑内障である。
動脈血流比率 (c a) が正常値と等しいならば、確率5 0 %で原発開放隅角緑内障である。
動脈血流比率 (c a) が正常値と等しいならば、確率5 0 %で慢性原発閉塞隅角緑内障である。
房水流入率 (f i) が定常値よりも大ならば、確率1 1 %で原発開放隅角緑内障である。
房水流入率 (f i) が定常値よりも大ならば、確率7 6 %で過分泌緑内障である。
房水流入率 (f i) が定常値よりも大ならば、確率1 1 %で慢性原発閉塞隅角緑内障である。
房水流入率 (f i) が定常値よりも小ならば、確率5 0 %で原発開放隅角緑内障である。
房水流入率 (f i) が定常値よりも小ならば、確率5 0 %で慢性原発閉塞隅角緑内障である。
房水流入率 (f i) が定常値と等しいならば、確率4 3 %で非緑内障である。
房水流入率 (f i) が定常値と等しいならば、確率6 %で原発開放隅角緑内障である。
房水流入率 (f i) が定常値と等しいならば、確率6 %で慢性原発閉塞隅角緑内障である。
房水流入率 (f i) が定常値と等しいならば、確率4 3 %で低眼圧緑内障である。
房水流出率 (f o) が定常値よりも大ならば、確率1 1 %で原発開放隅角緑内障である。
房水流出率 (f o) が定常値よりも大ならば、確率7 6 %で過分泌緑内障である。
房水流出率 (f o) が定常値よりも大ならば、確率1 1 %で慢性原発閉塞隅角緑内障である。
房水流出率 (f o) が定常値よりも小ならば、確率5 0 %で原発開放隅角緑内障である。
房水流出率 (f o) が定常値よりも小ならば、確率5 0 %で慢性原発閉塞隅角緑内障である。